

政策推進プロジェクト会議による重要施策等の推進方策の検討(伊予市)

【取組概要】

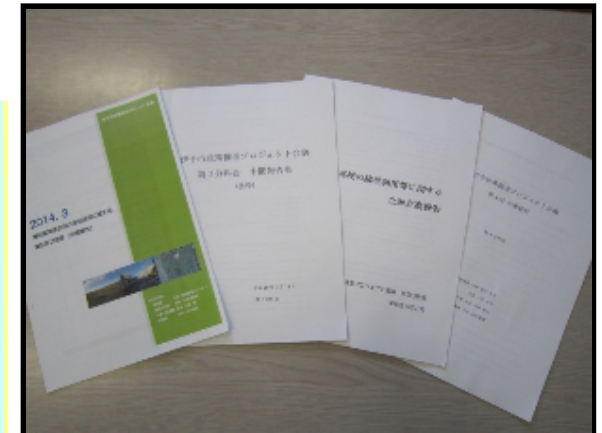
第1次総合計画(計画年度H17⇒H27)の適切な実施及び第2次総合計画(計画年度H28⇒H37(予定))の策定に係り、市が取り組むべき重要施策の推進方策、また直面する懸案事項の解決方策等について企画立案を行うため、副市長・総務部長及び中堅職員で組織する「政策推進プロジェクト会議」を設置した。

人口 38,716人

担当部署 未来づくり戦略室

【取組みの効果】

- 分科会からの報告・提言の一部について、担当課を定め、所管業務として具体的に着手できることとなり、ここ数年進捗を見なかった懸案事項に関する推進体制及び施策実現に向けた方向性を決定することができた。
- 委員にとって、政策形成過程に深く関わることで、知識の取得、能力の向上といったスキルアップに加え、期間内に報告・提言に至ったことで満足感、達成感を得ることができた。



分科会から提出された中間報告書

【他団体へのアドバイス】

地方自治体には、「地域のことは地域で決めていく」ことができる体力を養うことが求められており、中堅職員が政策形成に携わる機会を創出し、自治体職員として求められる能力を早期に身につけられるよう育成する必要がある。

当市が進める「政策推進プロジェクト会議」では、より実践的に政策形成・企画立案に関わる機会を設け、職員の資質向上、意識改革を図っている。

【創意・工夫した点】

- 定期的に市長・副市長との意見交換を実施し、委員のモチベーションの維持に努めた。
- 県内外に向け積極的に先進地視察を実施することにより、幅広い視野から解決策を探るよう努めた。
- 伊予市総合計画策定審議会と協議内容をリンクさせることにより相互認識・相互理解を深めながら共通する目的の実現に向けた活動を実施した。



先進地視察実施状況